

りんどうヶ丘の草原で見つけよう！

実施校：りんどうヶ丘小学校（南小国町）4年生

■実施概要

りんどうヶ丘小学校は、草原に囲まれた学校です。その環境を活かして、4年生が年間を通して草原の学習を行いました。春には、野焼きについて学んだ上で、校舎周辺の草原で春の植物調べを行いました。

身近にある草原で動植物を観察したり、その草原と地域の人びととの関係を学んだりすることを通して、りんどうヶ丘の草原を大切に思う心を育むことが目標です。

■学習のねらい

- ・ワークブックの学習を通して、野焼きが草原に与える効果について知る。
- ・草原での発見や観察を通して、草原環境に対する興味や関心を持つ。
- ・草原には色々な生きものがすんでいることがわかる。
- ・同じ場所や植物を観察しても人によって発見は様々。それぞれが異なる感じ方や視点を持っていることがわかる。

■学習の流れ

①教室内学習—45分（1コマ）

野焼きの学習（導入）

10:45～11:30

草原ワークブックを使って学習

②野外学習—50分

活動(1) 歩きながら探してみよう**活動(2) りんどうヶ丘の植物を調べよう**

11:35～12:30

教室内学習— 学習の後、先生が実施

学んだことをふりかえろう

- ・活動の感想を書こう
- ・疑問を書きだしておこう

<実施日> 平成24年5月24日(木)

<実施時間> ①教室内学習 1コマ

②野外体験活動 1コマ

<参加者> 4年生(8名)、担任教諭

<実施場所> りんどうヶ丘小学校及び学校に隣接した草原

<講師> 環境省阿蘇自然環境事務所
木部直美

<準備するもの>

(子どもたち) ①②筆記用具、②クリップボード

(学校) ②救急箱

(講師) ①草原ワークブック、紙芝居(クイズ)

②ルーペ、ワークシート

<コーディネーター>

環境省 阿蘇自然環境事務所

10:45 あいさつと今日の予定

10:50 草原ってなんだろう?～草原クイズ～

11:00 ワークブック(2～5頁)を使って野焼きの学習

11:30 (休憩) 野外に行く準備、トイレ

11:35 活動(1)「歩きながら探してみよう」

11:50 活動(2)「りんどうヶ丘の植物を調べよう」

・草原にある植物の中で特に気に入ったものを一つ選び、良く観察しよう(15分程度)

・観察した植物をみんなに紹介しよう!(10分程度)

12:30: 終了

■実施の様子

◇導入学習

- ・前半は教室で導入学習。「阿蘇の草原ワークブック」を使って、草原の野焼きについて学びました。



◇植物調べ

- ・野外学習では、校舎周辺の草原で植物調べ。それぞれ気に入った植物を選んで観察し、発見したことを発表しあいました。

■成果など

- ・各自ワークシートに記入した観察記録を集めて、学習の成果としてまとめた。
- ・春の草原にはいろいろな種類の花が咲いていて、その名前もわかった。
- ・それぞれ観察した花に名前をつけて、疑問に思ったことなどについて考えた。



子どもたちの観察記録より

- ・アザミを観察しました。ぼくがつけた名前はトゲトゲくん1号。なぜトゲトゲがあるんだろう。牛はなぜトゲがあるのかわかるのだろう、なぜ花がムラサキなんだろうと思いました。
- ・私は白くて小さい花を観察し、その花を「ホワイトフラワー」と名付けました。だけど本当の名前は「オオヤマフスマ」でした。意外な名前だなと思いました。
- ・「ウマノアシガタ」は毒があるので牛は食べません。この花はきれいな花です。
- ・オカオグルマをカントリーコースで見つけました。ぼくがつけた名前はつる花。理由は、花びらがつるつるしているからです。

留意点

- ・阿蘇の草原では季節毎に様々な動植物が見られます。観察のポイントを示したワークシートを使うと効果的です。